

■ **中村副会長が母校で講義**

日時：平成22年11月22日（月）10：30－12：00

場所：総合科学部K210教室

科目名：職業選択と自己実現—自分のキャリアをデザインしよう—（森 玲子教授担当
科目）

担当者：中村副会長

■ **就職活動支援バスツアー参加の現役学生との懇談会を開催**

日時：平成23年1月9日（日）17：00－18：45

場所：ハートンホテル京都

出席者：学生38名，卒業生20名

~~~~~

《参加学生と若手卒業生との懇談会 式次第》

1. 開会挨拶：今里キャリアセンター長
2. 関西フェニックスの会挨拶：豊高 勝 関西フェニックスの会会長
3. 卒業生近況報告：
  - 1) 日名子亮介氏（2008年3月工学研究科修了 日油株式会社尼崎工場）
  - 2) 日浅英成氏（2006年3月工学研究科修了 株式会社竹中工務店大阪支店）
4. 乾杯の音頭：中村隆廣 関西フェニックスの会副会長  
（食事を取りながら懇談）
5. 校友会事務局挨拶：中村健太郎 財務・総務室総務グループ主任
6. 関西フェニックスの会入会の誘い：岩井宏陸 関西フェニックスの会幹事
7. 閉会挨拶：斉藤武志 関西フェニックスの会副会長

~~~~~

《参加学生と若手卒業生との懇談会のスナップ》



豊高会長挨拶



卒業生近況報告（日名子亮介氏 08年3月工学研究科修了 日油株式会社尼崎工場）



卒業生近況報告（日浅英成氏 06年3月工学研究科修了 株式会社竹中工務店大阪支店）



乾杯の音頭をとる中村副会長





はじめは緊張！（卒業生は業界別，学生は学部研究科別のテーブルで）



卒業生のリードですぐに打ち解けた











先輩も学生も途中からテーブルを移動して





料理もおいしかった！





先輩も身振り手振りで





校友会について説明する中村健太郎 財務・総務室総務グループ主任



関西フェニックスの会へ入会勧誘挨拶をする中村幹事



閉会挨拶をする齊藤副会長



全員で

.....

広島大学卒業生と現役学生との懇親会開催にご協力し参加しての感想

関西フェニックスの会会長 豊高 勝

広島大学キャリアセンターから、大学初めての“関西地区への就活支援バスツアー”（東京地区は昨年既に実施され好評であったとのこと）の夜に関西地区に就職した若手卒業生との懇親会を開催したいので参加者を集めてほしいという要請があり、関西フェニックス会役員会で受けることにし、関西フェニックスの会員の皆さんに、それぞれの人脈を駆使してお声をかけていただきました。

<初めての活動で、どのくらい卒業生に参加していただけるか不安でした！>

卒業名簿を持たず、口コミにより発足以来2年間で約60名に増えてきた関西フェニックスの会（広島大学の関西地区応援団）会員の方々の積極的なご協力により、3連休ど真ん中の1月9日午後5時より7時までの2時間の短い懇親会で、且つ会費を徴収するという悪条件にも関わらず、12名の若手卒業生のご協力・参加を得、関西フェニックス会会員6名の参加と併せて卒業生約20名と現役学生約40名の合計60名の楽しい懇親会が開催できました。

<ご協力いただいた会員の皆様、広大キャリアセンターの皆様に感謝、感謝です！>

卒業生と現役学生（7～8名）でテーブルを囲み、立食で気軽に話をする事が出来、各テーブルとも賑やかで笑い声の絶えない和やかな時間を過ごし、2時間はあっという間に終了。学生は真夜中に広島に到着するJR中国バスで、朝早くからの疲れも見せず元気よく帰って行きました。

<若いってうらやましいですね！>

私も、定年退職して3年経過しましたが、久しぶりに母校現役学生と広島大学という縁を感じながら、今までの体験を通して学生との楽しい会話をさせていただき、“縁⇒円⇒輪⇒和⇒絆”を感じる時間を過ごすことが出来ました。また、おもしろいもので、現役学生へのアドバイスをしながらも、自らの学生時代に思いを馳せ、その当時の熱い思いを思い出す契機にもなり、彼らの御蔭で、そのパワー・元気をいただき、若返ったような気がしました。

<会費以上のお土産を一杯貰いました！>

関西地区に居られる広島大学卒業生（学部・学科を超えて）の皆さんとのネットワークを広げ、母校の現役学生との接点を持てるこのような会合にご参加いただき、学生時代のピュアーな自分に返るのも楽しいものですよ！是非、このようなイベントに多数のご参加をお待ちしています！

<その為には、関西フェニックスの会にご入会を！>

関西フェニックスの会は、母校を応援したいというボランティア精神のある卒業生であれば、入会・年会費無料で、HPから入会申請できますし、HPには活動内容を掲載していますし、広大校友会にも加入しておりますので、御確認いただき、ご入会ください。入会されますと関西フェニックス通信でこのようなイベントの情報提供をしますので、時間があるときで結構ですので、ご参加ください！

感 想

副会長 中村隆廣

- ・ 就職のためのアドバイスを、彼らの思い、意見を聞きながら一人一人に実施。中には10ヶ月近く留学し、本来4年生だが、あえて、異文化の勉強等で留学した方。就職方向としては商社イメージが強いが、メーカーでもと助言を求めてきた学生。企業のグローバル化の話、小生の海外駐在の話等のやりとりで共感したところもあった。グローバル化に力を入れている企業にとって商社でなくても、モノづくり企業で、それなりに即戦力で発揮しそうに思えた方々もおり、結構頼もしく思えた。
- ・ 他 女性の企業での業務内容等質問も受けた。上記メンバーとも、彼らは、彼らなりに就職について、しっかり考えていると感じた。ただ、彼らも、就職のための経験豊富なOBの話とか、入社後の業務の内容等、ポイントとなる話をしてあげると、より違った見方もでき、視野が広がる感じがした。
- ・ 一人一人じっくり話すと、時間内には6名+2,3名で、事務局より、OB、学生はテーブル指定だったため、学部2つしかコンタクト取れなかった；できるだけ多くの学生と話をし、情報を取得するなら、この学生数なら1企業3名くらいがベストか。時間的には、あっという間だった。
- ・ 事務局・キャリアセンター殿としては、これを機に、関東で広げているような展開にもって行きたいと言われていた（関東は2年継続で実施している）。

- ・ 次回より、今回の参加OBを起点に、関係者をさらに引き込み、点から線へ、線から面へ拡大していければ良いと思う。かつて7～8年前、田村昶三団長が創設された、「広島大学就職応援団」が、このような立派な形となってきた。これを継続していければと思う。

就活生との懇親会(1月9日)に参加して

副会長 齊藤武志

参加前は年齢や時代の隔たりから話が繋がるか不安を抱いていましたが、結果は全くの杞憂に終わりました。就活中の学生達は総じてバイタリテイと意欲にあふれ、開会前から私のところにまで積極的に押しかけて来て、自分の希望や気になる点などを話してくれましたし、私も自分の体験を踏まえてあれこれ意見を述べることができました。学生達の聞く態度も熱心で、会場全体の雰囲気にも高揚が感じられました。思えば就職活動というのは、単なる「職探し」ではなくて、いわば「生き方探し」と言えるかもしれません。だとすれば私達世代にも「人生の先達」として役に立つことがあるのではないかと気付いた次第です。学生達の就職活動が納得のいく形で結実し、意義あるキャリア形成に向かって歩み出せることを祈りつつ会を終えました。

懇親会の感想

幹事 岩井 宏陸

先日の懇談会に出席し、色々な刺激を受けることが出来ました。学生からは多くの実践的な質問を受け、報道されているような状況の厳しさを感じる事が出来ました。

また、「真面目な」広島大学の気質を感じることができ、自分自身の社会人としての心構えを改めて考えさせられるいい機会になりました。参加された卒業生が関西地区に就職され、一緒のフィールドで仕事できることを切に願っております。

今後とも大学支援行事には積極的に参加して、新たなつながりを生み出していただきたいと思います。

「関西へチャレンジ」

顧問 西川節行

今回、企業の合同セミナーのあった京都四条烏丸辺りは、祇園祭には人で一杯、その中に「広島焼き」の屋台が幾つも出ます。そこへNHKの朝ドラ「てっぺん」で「関西風お

好み焼き」に対して「おのみっちゃん」が大人気。関西は文化的に親近感があり、近いし、先輩も非常に多く、働き易いですよ。どんどんチャレンジお待ちしております。なお、学生の皆さんにお願い。先輩諸氏のご努力下、多くの企業が広大で「就職セミナー」を開きに参加します。出席者が少ないと企業の担当が一番がっかりする。学生の皆さん、社会勉強にもなるし、学内での「企業セミナー」にはしっかり出席して下さい。

同窓会と異なる「広大・関西」のキーワードでの交流

今里智晃（広島大学キャリアセンター長）

懇談会では関西フェニックスの会の皆様に大変お世話になりました。写真をご覧になれば一目瞭然、学生は卒業生のお話しに熱心に耳を傾け、有難いことに卒業生にも後輩のために役立ちたいとの気持ちがあふれていました。豊高会長がお書きになっているように、卒業生の皆様は学生と話しながらかご自分の学生時代に思いを馳せていたようです。

懇談会は学部ごとに分かれたテーブルで交流が始まり、やがてテーブルを移動して会場のあちこちで話の輪ができていました。参加学生にアンケートを取ったところ、合同企業説明会よりも懇談会が有意義だったという回答が圧倒的に多かったのが印象的です。先輩から話を伺って「頑張るぞという気持ちになった」という回答を見ると、実施した甲斐があったと準備の苦勞も忘れず。

参加して下さった卒業生の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。学部や研究科の枠を越えたこのような交流の場が、関西地区で今後大きく広がっていくよう祈念しています。

なお、参考までに当日のスケジュールを以下に記します。学生にとっては早朝から深夜までのハードな1日でした。

- 5 : 00 霞キャンパス（霞郵便局前）を出発
- 6 : 10 東広島キャンパス（学生プラザ前）を出発
- 11 : 00 きらっ都プラザ（京都産業会館）着。合同企業説明会に出席
- 16 : 00 きらっ都プラザを出発
- 17 : 00 「参加学生と（関西地区在勤の）若手卒業生との懇談会」（ハートンホテル京都）に出席。卒業生は20名が出席。

（食事を取りながら懇談）

- 19 : 45 懇談会終了
- 19 : 00 同ホテルを出発
- 23 : 55 学生プラザ前着 0 : 45 霞郵便局前着